

今日はここを観てみよう！

■雪の日の足跡いろいろ

イタチ・テン

ギャロップした時にできる2個ずつの足跡が特徴です。イタチは小川の近くでよくみられます。テンはイタチより大型です。



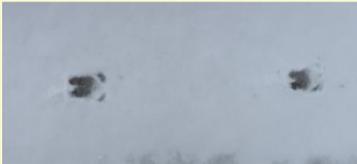
アナグマ

小熊のような足跡で、テンのようにギャロップして2個ずつの時もあります。屋間にとぼとぼ歩く姿を見ることがあります。



イノシシ

偶蹄目なので2つ足跡が残ります。かかとにある爪の跡が「ハ」の字型につくことが、ヤギやカモシカの違いです。



キジ

矢印のような足跡はどちらに進んだのかな？ よく似たサギの足跡には小さな水かきがあります。



今日はここを観てみよう！

■雪の日の足跡いろいろ

ホンドタヌキ

自然共生園では一番見かける足跡で、犬の足跡によく似ています。肩幅があるので、よたよた歩きになります。



ホンドキツネ

キツネの足跡は、直線的で、前足と後足が重なり、おすましに歩きます。ネズミを狙ってジャンプしたような跡も見つかるかもしれません。



ノウサギ

大きな足が特徴です。後足をそろえて着地します。進行方向はどちらかな？最近では冬に白くなるノウサギを見なくなりました。



ネズミ類

小さな両足で跳ねたあとの真ん中に、長いしっぽのあとが残ります。



みちのく公園北地区

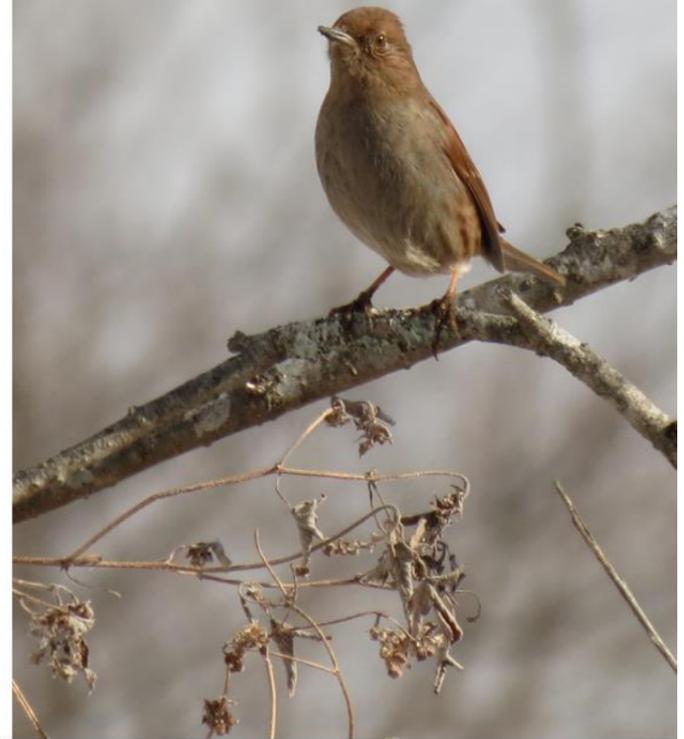


てくてくマップ

自然共生園



2月

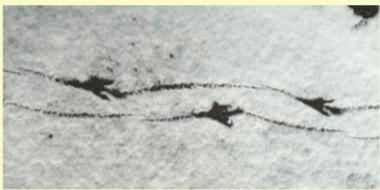


今日はここを観てみよう！

■雪の日の足跡いろいろ

よたよた歩き

よたよた歩きの足あととは、よく見かけるカラスの足跡です。少し急いでいるときは、ぴょんぴょん跳ね、両足がそろいます。



トコトコ歩き

建物近くのトコトコ歩きはセキレイです。



ホッピング

小さくぴょんぴょんと跳ねた足跡は、スズメやマヒワ等です。



カモ類

水かきがあるのですぐにわかります。内またのよたよた歩きです



今日はここを観てみよう！

■小鳥の群れ

冬の間、シジュウカラやコゲラ等と一緒に集団となって行動します。また、ヒワの仲間も畑地などに群れで飛来します。

シジュウカラ (位置C等)

カラ類の代表種で、「ツーピ、ツーピ」「ジジジ」などと盛んに鳴きながら、枝先の虫や実などをついばんでいます。



コゲラ (位置C等)

小型のキツツキでピー、ピーと鳴きながら、コツコツと枯れ木などを突きます。



カワラヒワ (位置D等)

「キリリ、キリリ」と小さな声で鳴きながら、数羽の群れで地面に舞い降りて、草のタネ等の餌を探ります。黄色の翅が目立ちます。顔はちょっとこわもてかも。



今日はここを観てみよう！

■冬の鳥 (位置B・C等)

ジョウビタキ

オスはお腹がオレンジ色で顔は黒く、翅の白い紋がよく目立ちます。「カッカッ」と火打ち石を叩くように鳴き、尾を震わせます。あまり人を恐れないので近くで観察できます。



アオジ (位置B等)

しばしば園路の傍の草むらの中で「チッチッ」と鳴きながら、ごそごそしています。表紙のカヤクグリも同じような場所にいます。



ハクチョウ (位置A)

暖かい日には、水辺でオオハクチョウやコハクチョウの群れがしばらく休憩することがあります。声が聞こえたら探してみよう。

